

杉浦定期能七十周年
杉浦元三郎七回忌追善

杉浦定期能

令和二年三月二十一日(土)午後一時開演(十二時十五分開場)

於 京都観世会館 左京区岡崎円勝寺町四四

*入場料 前売券 4,000円 / 当日券 4,500円 / 学生券 2,000円

*お申込み・お問い合わせ

杉浦定期能楽会事務局

Tel/Fax 075-462-2665

E-mail toyo@noh-sugiura.com

URL <http://www.noh-sugiura.com>

京都観世会館

Tel 075-771-6114

杉浦同門宅

出本勝範 (082-221-0095) / 岡田すみ子 (079-222-5362)

金子 昭 (06-6841-2769 - akaneko217@tcct.zaq.ne.jp) / 塚本和雄 (0748-48-2629)

戸川瑞穂 (072-433-3825) / 松井美樹 (miki.20030517@gmail.com)

松上公英 (06-6928-5021) / 山田修司 (075-861-3811)

主催

杉浦定期能楽会

番組 (七十ノ二)

二時四十五分 能のお話

一時 (能)

出本勝範

金子昭

養老

從者 有松遼一 大鼓 谷口正壽 太鼓 前川光範
勅使 小林 努 小鼓 林 大輝 笛 杉 信太郎
從者 岡 充 里人 茂山忠三郎

休憩十分

(仕舞)

芦 刈キリ 杉浦豊彦

西行桜 大江又三郎

歌 占キリ 片山伸吾

(狂言)

太刀奪

太郎冠者 茂山忠三郎 主人 山口耕道
道通り者 山本善之

(仕舞)

兼平 井上裕久

采女キリ 片山九郎右衛門

鶺鴒 飼キリ 大江信行

休憩十分

(能)

吉浪咲紀

松井美樹

百万

里人 村山 弘 大鼓 石井保彦 太鼓 井上敬介
小鼓 林 吉兵衛 笛 左鴻泰弘
門前の者 山口耕道

追加 終了予定五時半頃

後見・地割

戸川瑞穂 橋本忠樹
河村浩太郎 大江信行
河村和晃 塚本和雄
河村和貴 深野貴彦

大江広祐 橋本忠樹
吉浪壽晃 宮本茂樹

河村和貴 深野貴彦
山田修司 大江泰正

出本勝範 宮本茂樹
河村浩太郎 河村晴道
河村和晃 杉浦豊彦
大江泰正 片山伸吾

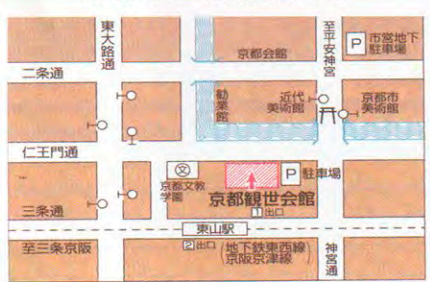
岡村宏懇

吉浪壽晃 大江又三郎

◆お客様へお願い

- * 事務局で許可した以外の方の写真撮影、ビデオ撮影、録音はお断りいたします。
- * 場内では携帯電話等の電源はお切りください。
- * 都合により出演者に変更がある場合がございます。予めご了承ください。

京都観世会館案内図



- ◆JR 京都駅より
市バス5・100で「京都美術館前」下車
地下鉄「烏丸御池」にて地下鉄東西線乗換「東山駅」下車
- ◆阪急河原町駅より
市バス31・46・201・203で「東山仁王門」下車
- ◆京阪三条駅より
市バス5で「京都美術館前」下車、地下鉄東西線で「東山駅」下車
- ◆JR 二条・山科・醍醐方面より
地下鉄東西線で「東山駅」下車
- ◆東隣に有料駐車場がございます

養老

雄略天皇の御代、美濃の国に霊水が湧き出たとの吉報を受けて勅使が下向する。一行が養老の滝のほとりにつくと老人と若者に出会う。老人は若者(息子)が親を養うため薪を採っている最中に発見したのだと言い、この霊泉の徳を讃える。勅使は感涙し、この由を申し上げようと帰路しかけると天より花降り音楽が聞こえてくる。所の者が養老の滝の謂れを語り、若返りの様を見せると養老の山神が現れ、清らかな水の威徳を讃え舞を舞い、泰平の世を祝福する。

百万

奈良西大寺で幼子を拾った吉野の男が嵯峨清涼寺の大念仏にやってくる。門前の男に何か面白いものはないかと尋ねると、百万という女物狂が面白く音頭を取ると言うので呼び出してもらう。百万は念仏の音頭を取って踊り、仏前に進んで我が子に会わせて欲しいと祈る。すると幼子があれこそ自分の母親だというので事情を問いただすと、夫を亡くし忘れ形見の我が子とも生き別れたため思いが乱れたのだと語る。百万は奉納の舞を舞い、奈良から我が子に会うため嵯峨へやってきたのだと言い仏に手を合わせる。男は間違いなく幼子の母親だと思い引き合わせ、親子は無事に再会する。

★次回予告

令和2年12月19日(土)1時始
能 清 経 出本勝範
能 船弁慶 前後之替 杉浦豊彦

